



春の全国交通安全運動標語 ～コンクール受賞作品～



春の全国交通安全運動の取り組みの一環として、大崎町が小学五、六年生と中学生を対象に、交通安全標語を募集したところ、五百五十二作品の応募があり、その結果、左の十名の受賞が決まりました。

これらの作品は、今後も広報活動などに活用していきます。
※学年は、三月時点でのものです。

★特選

(小学校の部)

・青信号 安心せずに 右左

菱田小六年 中島結衣さん

(中学校の部)

・見慣れてる いつも道ほど

大崎中三年 岡留七恵さん

要注意!!

★入選

(小学校の部)

・青だつて 何度も見よう 右左

野方小六年 吉原 聡くん

・あかあおきいろ 三つのいろの
おやくそく

大崎小五年 今福龍誠くん

・おうだんほどう あげているかな
右手さん

大崎小六年 上档 唯さん

・みぎひだり よくみてわたる
よいこたち

中沖小六年 磯脇 愛さん

(中学校の部)

・まがりかど 見えないところに
魔はひそむ

大崎中二年 栢山 心さん

・あと五分 朝の登校

ゆとりをもって

大崎第一中三年 芥川恵梨香さん

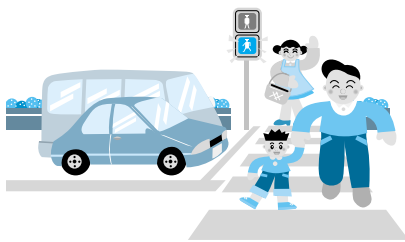
・やっちゃダメ 信号無視に

二人乗り

大崎中二年 前迫正美さん

・あわてるな 事故は一瞬
命は一生

大崎中三年 美戸幸平くん



C型肝炎検査 始まる



平成十四年度から五年間、基本健診の中でC型肝炎検査を、四十歳・四十五歳・五十歳・五十五歳・六十歳・六十五歳および七十歳の人に実施することになりました。本町でも肝臓を患っている人が多く、肝臓がんにかかって死亡する人が、後を断ちません。肝臓がんはアルコールによるものが多く、後を断ちませんが、実はそのほとんどがB型とC型の肝炎ウイルスが原因であることがわかってきました。

ウイルス性肝炎には、A型からD型までありますが、日本ではA型・B型・C型が多く発症しています。

急性肝炎の多くがA型で、外国旅行をした人に多く感染するようです。ウイルスに汚染された生水や食品(特に生の目や魚)などを

食べて感染したためと考えられます。B型は母から子へ、また夫婦感染によって起こりやすく、まれに慢性化することがあります。C型肝炎は血液により感染することが多く、八割が慢性化し、肝硬変や肝臓がんへと移行していきます。

このC型は、あまり症状が出ないことも多く、症状がある場合は、「体がだるい」、「吐き気」、「食欲がない」、「腹痛」、「黄疸おうだん」などがあります。

今回、実施することになったC型肝炎検査では、感染しているか、感染していないかを検査します。

その結果、感染している人は、発病しないように予防し、また、すでに発病している人は、しっかりと治療し、病気の進行を止めることが大切です。

この機会に、四十歳以上の方は健診を受け、早期発見・早期治療に心がけましょう。

